

学校の博物館利用について

当館では社会科・日本史等の教科教育での見学学習、総合的な学習の時間での調べ学習などのほか、社会見学、職場訪問（就業学習）などの受入を行っております。

神奈川県歴史と文化について、豊富な資料と情報を持つ県立歴史博物館をもっと利用してみませんか？

学校連携に対する基本的な考え方

授業の一環で博物館を利用する場合、主役はあくまでも先生方であると考えています。そのため、先生方とご相談しながら、先生が博物館を利用しやすくなるための素材や資料、具体的な活用方法を提供し、先生の目指す教育目標を達成すると共に、博物館の存在、面白さを知ってもらうことをテーマとしております。

当館では学校の教育活動の一環として来館する児童・生徒に対して各種の教育サービスの提供を行っております。

具体的な取り組み

当館では学校の博物館利用について次のような取り組みを行っております。

ご利用の際は、必ず事前に担当までご連絡ください。内容を調整させていただきます。

連絡先 神奈川県立歴史博物館 企画普及課 TEL045-201-0926

(1) 見学学習及びそれ以外の利用へのサポート

展示解説サービス（常設展示・特別展示）

展示解説は、見学の事前打合せの際に、当館担当者との打合せの中で目的をうかがいながら内容を決めていきます。必ず事前にご連絡下さい。

- ・一般的な展示解説は、展示解説ボランティアが対応します。常設展示全般から特定のテーマまで、幅広くご利用いただけます。
- ・より専門的な説明が必要な場合には学芸員が対応いたします。

見学学習以外のご要望に対する対応

就業学習・体験の受け入れ

調べ学習への支援

(2) 先生への資料提供 1

『歴史博物館の展示（常設）目録 学習指導要領・教科書との対照表 』

当館の常設展示室で見ることができるもの全て（実物資料・模型・レプリカからパネル・グラフィックに至るまですべて）をリストにし、どの展示資料が学習指導要領や教科書の単元のどこと対照できるかを示し、さらに担当学芸員による「見学

のポイント」を載せました。小中高等学校別に用意しております。

(このホームページからダウンロードできます。)

『常設展示キャプション集』

各展示コーナーのテーマパネル(大中小)から展示資料について書かれているキャプションに至るまで、展示室内にある文字情報を網羅したものです。上記『歴史博物館の展示(常設)目録 学習指導要領・教科書との対照表』とこの資料があれば、少なくとも当館の常設展示にはどんな資料が並んでいて、どんな説明がされているかがわかります。

(3) 先生への資料提供 2

「ワークシート(素材)」の提供

ワークシートの基本的な考え方

歴史博物館では、児童・生徒の発達段階に応じた校種別のワークシートを準備しています。このワークシートは、展示資料を見て、神奈川の歴史や文化に興味・関心を持っていただくと同時に、課題の解決や新たな課題の発見のために役立ててほしいと思い作成しています。

歴史博物館としては、このワークシートを教材作成の素材としてもご活用いただき、ぜひ先生方に学習の目標や児童・生徒の実態に応じたものに作り替えて、オリジナルのものを作っていただきたいと思います。

ワークシートの内容

常設展示コーナーの各テーマを一通り見学することを想定して問題を作成しています。

ワークシートの内容は、三種類(小学生用、中学生用、高校生用)とも次のことをふまえた問題になっています。

- ・展示資料をよく観察し、解答していくという「見学」を重視した問題です。
- ・各時代を念頭に入れつつ、常設展示コーナーのテーマに添った問題です。
- ・展示資料をじっくり観察したり、その説明文を読んだりすることによって解答を導くことが出来る問題です。
- ・解答は一つとは限らず、発展的な学習にも結びつくように配慮した問題です。